

伊藤 正信 議員 無所属クラブ

渋滞や危険など現状に即した市内の交通施策を

問

(1) 長年の懸案事項であったJ Rと名鉄線の駅西側踏切の住宅が移動したがその後の進捗は。

(2) 名鉄沿線の銀座通から日本毛織間の安全対策と道路整備の調査計画は。

(3) 旧155号線から1号線の尾張大橋付近は、左右の信号機の前に右左折の時間差通行がされているが、路肩整備をすれば交通渋滞が解消できると考えるが。

(4) 市内の通行規制、特に通学路を中心にした時間帯(朝7時から9時まで)で規制がされ、北部方面からの通行実態が悪い。

規制を実態に合うよう見直す必要があるのでは。

関係機関に要望し改善するよう検討していく

答 危機管理課長

(1) 朝の時間帯は交通量が多いため踏切の両側から進入すると踏切内での交差が困難で危険な状態である。

通行の安全対策として、J R踏切と名鉄線踏切間の民有地の買収と家屋の取り壊しを行い、歩行者の安全確保を行っている。

踏切幅は、J R、名鉄それぞれと協議を行っているが進展が図られていない。踏切内の安全対策として、朝・夕の時間帯に交通整理員の配置を来年度できるように検討していきたい。

答 土木課長

(2) 名鉄西部土木管理区と調整し沿線路肩部の舗装端から名鉄敷地内の側溝までをコンクリートで処理し、用地界に防護柵を設置し、現道幅員より少しでも広く

使用できるよう考えている。工事延長が約340mと距離が長いので、事業期間を2年から3年とし、来年度から工事に着手したい。

(3) 海部建設事務所に確認したところ、県道交差点部に右折帯が十分でないことも一因で現在、交通量調査を行い対策の検討を行っているとのことであった。

今後、関係機関とも調整し国道1号線の拡幅の早期着手もあわせて要望していきたい。

答 危機管理課長

(4) 通学路の歩行者安全確保、住宅街の狭い道路の通り抜けなどの危険防止を目的に時間規制車両通行禁止の通行規制の道路があることは承知している。通学時間帯外の時間規制について公安委員会へ確認したところ、地域の同意や理由を示すことで、規制時間の変更、取り消しは可能という回答であった。

答 市長

(4) 当初は必要性に応じた

ものであったと判断するが、現在の交通体系や状況も変化しているので、関係区長、学校当局なども協議し改善をしていきたい。

駅前はそのまちな顔である整備を一層深める考えは

問

駅前はそのまちな顔である。財政の変化、国からの防災、学校への対策など難しい財政運用があることは理解するが、魅力あるまちづくりと現存する住民が安心して生活していくために駅付近の整備を一層深める考えはあるか。

南北自由通路と橋上駅舎化を最優先に整備していく

答 市長

庁舎建設を含め、大型プロジェクト事業があり、一旦は凍結したが、将来人口、財政などを考慮し、J R・名鉄弥富駅の橋上駅舎化と自由通路の整備を進めるため、概略設計及び調査費を9月議会で認めていただ

た。32年を目途に、まずは自由通路、橋上駅舎化を完成させその後第2段階の整備を考えていきたい。

米を扱っていないオペレーターが販売することは問題ないか

問

自主流通米の取り扱い方の中で、オペレーターが扱出をしてない米の販売をオペレーターに付託することは問題ないか。

法律が改正されたので販売することは問題ない

答 開発部長

米の流通制度は、16年4月に食糧法(主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律)が改正されたので、原則自由化となっている。

多様なルートを通じ農家やJAがどこでも自由に米の販売を行うことが可能になり、生産者がJAを通さず販売することは問題ない。